

The Japan Association of Chinese Language Education

# 中国語教育学会会報

第 26 号 (通巻 51 号) 2009 年 6 月 30 日発行

〒562-8558

大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1

大阪大学 外国語学部 中国語学研究室内

中国語教育学会

HP <http://www.jacle.org/>

Email [ch\\_teaching@yahoo.co.jp](mailto:ch_teaching@yahoo.co.jp)

=====

## 目次

- (1) 第 7 回全国大会開催報告 200 人余りの参加を得て、盛会となりました。
- (2) 2009 年度第 1 回理事会、総会報告 来年度大会の会場と日時が決まりました!
- (3) 事務局からの連絡 学会誌第 8 号の原稿募集など大切な連絡があります。
- (4) 関東地区 7 月研究会のお知らせ 7 月 18 日開催です。
- (5) アジア (日本、韓国、シンガポール、ベトナム) の中国語教育に関する国際シンポジウム開催のお知らせ 11 月 29 日に大阪で開催します。研究発表と参加を募集しています。

=====

## (1) 第 7 回全国大会開催報告

第 7 回全国大会は新型インフルエンザの影響による延期もしくは中止が危ぶまれましたが、去る 6 月 6、7 日 (土日) の両日、愛知大学豊橋校舎において 203 名に及ぶ参加者を得て開催され、盛会となりました。

### 6 月 6 日

12:00 ~ 13:00 理事会

13:30 ~ 14:00 会員総会

14:00 ~ 14:20 開会式

会長挨拶: 古川裕 (大阪大学)、開催校代表挨拶: 愛知大学学長佐藤元彦

14:20 ~ 17:10 シンポジウム「“了”をいかに教えるか」

#### 第 1 部 基調講演と報告

基調講演 (关于“了”的教学的若干思考—一个“了”的教学方案)

劉勳寧 (明海大学) 司会: 佐々木勳人 (筑波大学)

報告 「“了”的病句-日本学习者常见的错误」郭春貴 (広島修道大学)

報告 「“了”の使い方-理論的側面からのアプローチ」三宅登之 (東京外国語大学)

報告 「“了”の導入-教科書における提示法の検討」山崎直樹 (関西大学)

第 2 部 ディスカッション 以上司会: 荒川清秀 (愛知大学)

17:30 ~ 19:30 懇親会

### 6 月 7 日

9:20 ~ 12:00 研究発表 (第 1 ~ 4 分科会)

「初級学習者による副詞“在”の誤用について」工藤亜希子(北海学園大学・非)

「副詞“好像”の用法について - 特に伝聞を示す場合」佐藤仁(日本大学・院)

以上司会:森宏子(流通科学大学)

「学習者が求める中国語教材の考察」竹中佐英子(目白大学)

「中国語が身に付く教科書を求めて」秦耕司(長崎県立大学)

以上司会:西川和男(関西大学)

「構文名称の明示と使用場面の例示による教育効果 - 疑問詞連鎖構文を事例として」鈴木慶夏(釧路公立大学)

「日本人中国語学習者による「補語」の習得研究 - 「補語」の使用能力という視点から」姚艶玲(九州大学・非)

「中国語教材における謙遜表現の扱い - 「ほめ」の場面を中心に」西香織(北九州市立大学)

以上司会:岩本真理(大阪市立大学)

「木構造図を利用したピンイン分析と日本人学習者に対する中国語音韻教育 - CTTとMindmapを利用して」丁雷(広島大学・院)

「短期間での能力向上を目指した中国語教授法について」篠原征子(北九州市立大学)

「第二言語習得研究の中国語教育研究への応用の可能性」藤井玲子(東京大学・院)

以上司会:山田真一(富山大学)

#### 13:20 ~ 15:30 研究発表(第5~8分科会)

「中国語教育への認知言語学・心理学の応用 - 方位成分“上”の意味・機能拡張を例として」陳昌柏(神戸大学・院)

「“对”字句的基本语义功能及对介词“对”功能分化条件试探」張恒悦(龍谷大学・非)

以上司会:張黎(大阪産業大学)

「学生を主体とする異文化交流遠隔教育シラバスデザイン」林虹瑛(東京外国語大学 GCOE フェロー)、林俊成(東京外国語大学)

「中国語時事作文について - 日本語との対照から見た特徴・誤用」藤田昌志(三重大学)

以上司会:遠藤雅裕(中央大学)

「中国語の方向補語“出”の表す意味 - “买出”を例として」丸尾誠(名古屋大学)

「連語論から見る空間詞の位置について」高橋弥守彦(大東文化大学)

以上司会:佐藤富士雄(中央大学)

「「中国語能力試験」による文法習熟度測定を試み」斎藤貴志(麗澤大学)

「教材、教室における文法の扱い方」輿水優(日本大学・非)

以上司会:守屋宏則(明治大学)

#### (2) 2009 年度第 1 回理事会、総会報告

理事会出席者:古川裕(会長);西川和男、平井和之、藤井達也、三宅登之、山田真一(以上代表理事);岩本真理、遠藤雅裕、加藤晴子、郭春貴、日下恒夫、胡士雲、佐藤富士雄、高橋弥守彦、陳淑梅、西香織、丸尾誠、守屋宏則、楊光俊(以上理事);郭修静、森宏子(以上幹事)

理事会欠席者:大川完三郎、胡興智、武信彰、依藤醇(以上 50 音順、敬称略)

## 報告事項

### (1) 会務報告

- ・ 会員動向（09年6月5日現在）会員総数470名【前年同期比+43名】
- ・ 学会誌『中国語教育』第7号の発行について：  
2009年3月31日付けで600部印刷発行した。

### (2) 会計報告

- ・ 2008年度決算、会計監査は【資料】の通り。

### (3) 次期(2010年4月～2012年3月)役員選挙の予定を確認した。

- 本年9月下旬 被選挙資格を有する会員のリストを作成
- 10月中旬 会報と共にリスト発送
- 11月上旬 投票締め切り後、即時開票
- 12月上旬 第2回理事会において新規会長及び役員を選出

## 審議事項

### (1) 2010年度第8回全国大会開催校について

古川会長より桜美林大学が推挙され承認された。桜美林大学を代表して楊光俊理事より挨拶があった。

会 場：桜美林大学(東京都町田市)

日 程：2010年6月5/6日(土/日)

シンポジウム・講演会テーマ：未定

### (2) 国際シンポジウム(兼関西支部例会)への協力依頼について

テーマ：“ 亚洲各国非汉语环境下的汉语教学 ”

日 程：2009年11月29日(日)

会 場：大阪大学中之島センター

共 催：日本関西地区中国漢語教師交流協会

協 力：韓国中国語教育学会、新加坡南洋理工大学国立教育学院亚洲语言文化学部、  
越南河内外国语大学中国语言文化系。

### (3) 第2回理事会の開催について

2008年12月上旬に東京において開催予定。

### (4) 名誉会員の推挙について

内規の一部修正が提案され、総会において承認された。

内規1「名誉会員は本人からの申告をもとに、大会の総会において決定する。」

「名誉会員は本人からの申告または会員からの推挙をもとに、理事会が発議し、大会の総会において決定する。」

【資料】

中国語教育学会 2008 年度会計決算書 (2008 年 4 月 ~ 2009 年 3 月)

< 収入 >

	予 算	決 算
会費収入	1,600,000	1,967,000
会誌売上	50,000	98,000
寄付		535,000
<u>繰越金</u>	<u>2,528,910</u>	<u>2,528,910</u>
計	4,178,910	5,128,910

< 支出 >

諸会議費	300,000	287,939
事務費	200,000	296,938
郵便費	320,000	295,296
交通費	500,000	497,700
会誌第 7 号印刷費	300,000	269,325
第 6 回大会費	400,000	400,000
幹事手当	200,000	200,000
<u>予備費</u>	<u>1,958,910</u>	<u>2,881,712</u>
計	4,178,910	5,128,910

監査の結果、経理内容は適正であり、会計諸表は的確に処理されていることを認めます。

2009 年 4 月 25 日

2008 年度会計監査 勝川裕子(捺印省略)

2008 年度会計監査 中西千香(捺印省略)

2009 年度予算案 (2009 年 4 月 ~ 2010 年 3 月)

< 収入 >

会費収入	2,000,000
会誌売上	50,000
<u>繰越金</u>	<u>2,881,712</u>
計	4,931,712

< 支出 >

諸会議費	300,000
事務費	200,000
郵便費	320,000
交通費	500,000
会誌第 8 号印刷費	300,000
第 7 回大会費	400,000
幹事手当	200,000
選挙関連費	50,000
<u>予備費</u>	<u>2,661,712</u>
計	4,931,712

### (3) 事務局からの連絡

#### ・年会費の納入について

同封の振込用紙に必要事項をご記入の上、年会費をお振込ください。

年会費は個人会員、団体会員を問わず年額¥5,000です。

事務処理の都合上、必ず2009年7月末日までにご入金ください。

会費滞納の方は振込用紙に注記された未納額を一括納入してください。請求金額が合計¥15,000以上で、7月末日までにお支払いがない場合は会則に従い除籍となります。

#### ・住所、勤務先などの変更届けについて

住所や勤務先などの変更が生じた場合には、学会事務局まで電子メールにてご連絡ください。なお、事務処理上の煩雑さを避けるため、振込用紙への記入や郵便、ファクスなどでのご連絡はご遠慮ください。

特に本年度は秋に学会会長、役員の改選が行われますので、最新の情報をお届けください。ご協力をお願いいたします。

#### ・支部例会のお誘い

今年度も関東地区、関西地区、九州地区での支部例会発表者を広く募集しています。

研究発表を希望される会員、あるいは講演会などを企画される場合、関東地区は三宅登之理事(東京外国語大学)、関西地区は事務局(大阪大学)、九州地区は西香織理事(北九州市立大学)までご連絡ください。

各連絡先アドレスは学会ホームページ「研究会・講演会」ページからリンクされていますので、ご利用ください。

#### ・情報提供のお願い

中国語の教育研究に関する研究会、講演会、コンテストなどの情報がありましたら、学会事務局までお知らせください。いただいた情報は学会ホームページに掲載し、広告いたします。

#### ・学会誌第8号の原稿募集について

『中国語教育 第8号』は来春2010年3月末に刊行予定です。研究論文の投稿を広く募集します。応募資格は、投稿時点における本会会員に限ります。

研究論文は日本語、英語、中国語によるものとし、400字詰め原稿用紙換算で50枚(2万字)以内、内容は中国語教育に関係するオリジナルな研究論文、中国語教育現場での実践報告、調査報告や書評などします。投稿原稿はそれぞれ理事複数名の査読によって採否を決定します。「投稿規程」及び「執筆要領」は、本学会ホームページ「投稿規程」に最新版を掲載していますので、必ずこの規定に従った原稿を提出してください。

投稿受付の締め切りは2009年12月4日(金)事務局必着(郵送、宅配便)とします。例年よりも締め切りの日程が繰り上がっていますので、ご注意ください。

#### (4) 関東地区7月研究会のお知らせ

下記の日時、会場において関東地区研究会を開催します。多数ご参加ください。

日 時：7月18日(土)16:00～18:00

会 場：大東文化会館301教室

(東武東上線東武練馬駅より徒歩3分)

発表者と題目：

1. 石毛文茂(大東文化大学・非)「日本人中国語学習者の声調について」
2. 大島吉郎(大東文化大学)「中国語学科における専門教育へのとりくみ」
3. 高橋弥守彦(大東文化大学)「中国語の文法体系」

#### (5) アジアの中国語教育に関する国際シンポジウム開催のお知らせ

テーマ：“亚洲各国非汉语环境下的汉语教学”

日 程：11月29日(日)9:30～17:00

会 場：大阪大学中之島センター

(京阪電車中之島駅より徒歩5分 <http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>)

共 催：日本関西地区中国漢語教師交流協会

協 力：韓国中国語教育学会、

新加坡南洋理工大学国立教育学院亚洲语言文化学部、

越南河内外国语大学中国语言文化系。

使用言語：中国語

日本、韓国、シンガポール、ベトナムは、いわゆる「漢字文化圏」という歴史的・地理的文脈の中で、それぞれ中国語を母語としない環境下での中国語教育を行ってきました。その意味で、欧米地域を対象とする中国語教育には無い特性を共有していますが、残念ながらこれまで相互の交流と理解は十分とは言えませんでした。

このような問題意識のもと、このたび中国語教育学会関西地区研究会として、韓国中国語教育学会、シンガポール南洋理工大学国立教育学院、ベトナムハノイ外国語大学中国語文化系、日本関西地区中国漢語教師交流協会の協力と共催を得て、上記の日程および会場で、アジアの各地域における中国語教育に関する情報交換を目的とした国際シンポジウムを開催します。

韓国、シンガポール、ベトナムからは、各国それぞれ約10名の参加が予定されています。

広く会員の皆様の研究発表と参加交流を募集しますので、下記のシンポジウム専用メールアドレスまでご連絡ください。研究発表(中国語)は、日本における中国語教育に関する分析と提言を含むものを歓迎いたします。

中国語教育学会事務局内「日本中国語教育学会 '09 国際研究会」係  
シンポジウム連絡専用の Email: hanyujiaoxue091129@gmail.com